平成17年度大竹市水道事業会計及び工業用水道事業会計決算審査の概要

（建設水道委員長報告より）

問 **第2期工業用水道事業の未売水は日量2万2千トンありますが、その完売に向けてさらなる努力が必要ではありませんか。**

答 東栄の県有地も残りの面積が少ない状況の中で、工業用水を使う企業を誘致することの厳しさを感じています。

今後、利活用については、工業に限らずあらゆる方法で水を売る働きかけが必要と考えています。

断水事故に伴う江田島市への船舶による給水（大竹港）

問 **第2期工業用水道事業にかかる日本大昭和板紙西日本との損害賠償訴訟の状況について伺います。**

答 裁判所から9月末までに和解案の提示を受け、10月31日に双方の意見を申し述べることになっています。

和解案が提示され、市の考えをまとめた上で、議会にも報告したいと考えています。

問 **第2期工業用水道事業の未売水について、今後、どの程度契約できれば収支の均衡を保つことができると見込んでいますか。**

答 損害賠償請求額25億円の2分の1が確保できるものと仮定した上で、現在契約済の水量8千トンに1万5千トンを追加して、合計2万3千トンの契約が目安と考えています。

問 **上水道事業において、これまで県用水の利用を抑える努力をしてきた結果、水道料金への影響は出ていないと聞きますが、更なる抑制は可能でしょうか。**

答 平成17年度から19年度まで暫定的に、県との交渉により料金設定の基となる基本水量等を引き下げていただいていますが、平成20年度以降については、今後の交渉によることとなります。

問 **県営水道の送水管の大規模な破損により、呉市・江田島市に断水が生じましたが、本市の設備の点検状況や今後の計画等を伺います。**

答 平成17年度から漏水調査を行なっているほか、上水の老朽管について、18年度は大和橋から中市堰までの間の600メートル程度について布設替えをするなど、年次計画を立てて取り組むとともに、今回の災害を教訓に、本市においてもできる限りの点検をしたいと考えています。

平成18年 第4回 臨時市議会

会期 8月17日

臨時会で審議した案件は人事案件2件および会期決定の3件でした。概要はつぎのとおりです。

○固定資産評価員の選任の同意

固定資産評価員に選任していた税務課長の退職に伴い、後任の税務課長を選任することに同意しました。

○助役の選任の同意

北栄、松崎和生氏を助役に選任することに同意しました。

議会改革等検討委員会の設置

市議会では今後の市議会のあり方について検討を行うため、議会改革等検討委員会を設置しました。

委員長以下構成委員は次のとおりです。

委員長　西川　健三
副委員長　佐伯　武志
委員（議席順）
岡部　健三　寺岡　公章
原田　博　二階堂　博
中川　康二　広岡　巧
田中　実穂　広中　龍彦
山本　孝三

利用ください

「声の市議会だより」「点字の市議会だより」

広く市民の皆さんにご利用いただくため、音訳ボランティアと点字ボランティアの方々のご協力によりまして、市議会だよりの内容を録音した「声の市議会だより（テープ）」を貸し出しています。

また、「点字の市議会だより」は差しあげます。

ご希望の方は、市社会福祉協議会（☎52−2211）までご連絡ください。

請願・陳情

9月定例会では、継続審査中の陳情4件が審議されました。審査の結果はつぎのとおりです。

「晴海2丁目の商業用地化に反対する陳情書」　—不採択—

陳情の要旨は、晴海地区の県有地については商業用地化が計画されているが、抜本的見直しを含めて検討していただきたいという内容で、6月定例会に提出され、継続審査となっていた案件です。

本件については9月26日の本会議において、採択するべきとの立場で4名の議員が、不採択とするべきとの立場で2名の議員が討論を行い、起立採決の結果、不採択と決定されました。

その詳細につきましては12月上旬に製本されます本会議録をご覧ください。（本会議録は市役所情報コーナー及び市立図書館、また市のホームページでもご覧いただけます。）

なお、木野小学校の統廃合を行わない事を求める陳情書、木野保育所の存続を求める陳情書、公立保育所廃止・民営化の中止を求める陳情書についての3件の陳情は継続審査としております。

地方の道路整備の促進に関する意見書

道路は、国民生活や経済・社会活動を支える最も基礎的なインフラであり、その整備は全国民が長年にわたり熱望してきているところです。

本市においても、国道2号の慢性的な渋滞は例外ではなく、市民生活のみならず産業活動にも重大な支障を及ぼしており、関係住民も受忍の限度を超えた状況にあります。

今後、地域が一定のまとまりを持った自立圏域として新たな活力を創造していくためには、高速道路をはじめとした地域内外の交流と連携を支える道路網の整備は極めて重要な課題であり、交通渋滞の緩和や交通事故の減少並びに生活圏の拡大及び産業経済の発展のため、広島岩国道路及び一般国道188号岩国南バイパスと連結する地域高規格道路岩国大竹道路の整備が、本市の極めて重要な課題となっています。

昨年末に道路特定財源の見直しに関する基本方針が示され、見直しの作業が進められていますが、道路整備に対する国民の要求は依然として高いことを踏まえ、引き続き道路整備の推進が強力に図られるよう、次の事項について配慮されるよう強く提言します。

1. 受益者負担という制度趣旨に則り、道路特定財源の使途については、道路利用者や納税者である国民の意見を適切に反映し、道路整備を強力に推進するために必要な予算を確保すること。
2. 安心・安全な生活の確保や経済活動の発展を支えるため、地方部の遅れた高速道路の整備を推進し、一日も早い完成に努めること。
3. 高速道路のさらなる有効活用により、一般道路も含めた道路全体の渋滞や沿道環境、交通安全問題の解決を図るため、ネットワークの早期整備、インターチェンジの最適配置とアクセス強化、弾力的な料金設定などを進めること。
4. 自動車による二酸化炭素の排出抑制に不可欠な渋滞対策や、市町村合併を支援するため、地方の道路整備を強力に推進すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成18年9月26日

大竹市議会

（意見書提出先）
○総理大臣○総務大臣○財務大臣○国土交通大臣

議会日誌

8月11日	議会運営委員会
8月17日	第4回臨時市議会本会議
8月18日	石油基地防災対策都市議会実行運動（東京都）
8月29日	広島県市議会議長会臨時会（三次市）
8月30日	産業厚生委員協議会
〃	総務文教委員協議会
8月31日	大竹三次間国道433号改良促進期成同盟会総会（広島市）
9月1日	建設水道委員協議会
9月4日	議会運営委員会
9月11日	議会運営委員会
〃	本会議
9月12日	本会議
〃	市議会だより編集委員会
9月13日	総務文教委員会・協議会
9月14日	産業厚生委員会・協議会
9月15日	建設水道委員会・協議会
9月19日	岩国・大竹道路対策特別委員会
9月22日	議会運営委員会
9月26日	本会議
〃	議員全員協議会
〃	建設水道委員協議会
〃	市議会だより編集委員会
10月5日	議会改革等検討委員会
〃	建設水道委員協議会
〃	産業厚生委員会管外視察
10月11日～16日	市議会だより編集委員会
10月18日～21日	和木町議会来訪
10月22日～23日	全国育樹祭（広島市）
10月25日～31日	建設水道委員会管外視察
10月30日～11月1日	市議会だより編集委員会
10月30日～11月1日	議員全員協議会
10月30日～11月1日	議会改革等検討委員会
10月30日～11月1日	コンビナート総合防災訓練（晴海埋立地）